

平成29年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価(前期) (評価規準 A:十分に実践されている B:ある程度実践されている C:不十分である D:分からない)

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養						
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。						
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理						
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
①学習指導の充実	アクティブ・ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革に向けて、アクティブ・ラーニング、ICTを利用した授業の実践方法について模索する。 [5教科による、年2回の研究授業及び、授業検討会を行う]	B	<ul style="list-style-type: none"> 研修も行われ、意識が高まったように思われる。検討会では他教科の先生とも意見交換ができた。 アクティブラーニングという観点では、工夫して生徒主体になるような授業を心がけた。生徒主体、対話型の授業案の作成、導入、周知の必要がある。 研究授業を始めたが、英語・地歴・国語が前期に実施し、他の教科は滞っている。 実際の授業では、従来の授業展開から脱却できていないのが現状。 ICTの環境が整っていない。研究の必要と学校全体で取り組むべき課題だと感じる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業の在り方を根本的に見直す時期だと思う。 生徒の思考力、判断力、発言力をつけるためにも、アクティブラーニングの観点を取り入れた授業を進めて欲しい。 ICT環境については、知識・技能という点で専門知識のある指導者が必要かと思えます。 早期のICTの環境整備をお願いしたいと思います。
	学力分析と学習方法の考察	<ul style="list-style-type: none"> ベネッセの到達度テスト(基礎力診断テスト及びスタディサポート)を利用し、事前教材を使って学習量を増やす。事後の結果から学力の抜け漏れを確認しそれを補う指導をする。 河合塾・ベネッセの模擬試験を通して、志望校合格のための学力や学習内容を認識させる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 早くから事前教材に取り組みせ、成績も上昇傾向にある。 事後の資料の活用が十分に行えていない。 朝学習を利用して小テストを行っているが、学びなおしや基礎力の定着のために、授業を中心とした学習習慣をつけることに力を注ぎたい。PDCAサイクルをつくるため、手帳を持たせ、生活リズム、学習時間の確保をしたい。 GTECの分析を業者と実施し、結果を強化で共有したが、どお指導に生かすかは今後の課題。 高校3年生は、模試の回数をもっと増やしてもよいと思う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 事前教材に取り組み、全体的な成績が上昇していることはとても喜ばしいことだと思います。 テスト実施後の指導を手厚くお願いしたいと思います。 小テストの内容の工夫や授業内容のまとめプリントの配布など、授業内容の定着のための方法を考えてほしいと思います。
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> 3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示する。 職場見学や卒業生等による講話を通して、会社への理解を深め社会人になることへの意識高揚を図る。 徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者65名中、内定55名(10月3日現在)。10月中には、全員内定となるよう努力していきたい。11月以降、2年生の対策として、筆記対策としての問題集の購入、新聞を読む習慣の育成、3年生からの体験談の講話等を行う。 レベルの高い企業に挑戦する意欲と人材を増やしたい。 1年次からの、基本的な生活習慣の指導、学習指導、職業調べなどが必要。 3年間を通しての指導を、学校全体で取り組めるような体制がほしい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 1年次の早い時期からのキャリア教育が必要かと思えます。 就職指導につきましては、とても安心してお任せできます。 各方面の企業の方を呼んで、就職についての話を聞ける時間があれば良いと思います。 レベルの高い企業からの推薦枠が取れる生徒、学校を代表して就職先に推薦できる生徒の育成を目指したい。 毎年、良い結果が出ていることに、先生方の一丸となつての努力に感謝します。
	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学&中堅以上私大推薦入試合格4名、一般入試合格4名、計8名を目指す。(センター試験受験科目得点率70%を目標として実力養成) 専門学校・短大・大学推薦AO入試志望者の出願・面接・事後指導に手をかける。 ガイダンス、進路講演、個別相談を有効に行い、よりハイレベルなキャリアに向けて学習する意欲を育てる。 スコラなどでPDCA学習を身につけさせ、スタディサプリと受験対策講座で合格の学力を養成する。 中学から大学受験を見据えた学習環境を整える。[補講・学力向上学習会・スタディサプリの実施] 	B	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス・進路講演は、年々向上していると感じる。夏のオープンキャンパス課題、春の進路課題と進路意識高揚にも努めている。 就職指導にも共通するが、卒業生を招いての体験談を聞く機会を持ってないだろうか。 スコラ手帳、スタディサプリは、担当の先生方の意識と協力が不十分な点があり、高揚させていきたい。 夏休みの講座はレベル別で良かったと思うが、回数をもっと必要。 中学生については、将来、大学に進学することを目標に指導している。毎日の復習シート、定期テスト70点未満の再試制度、月曜学習質問日、木曜放課後1時間学習、希望者のサプリなど充実してきていると思う。 就職と同じく、3年間、学校全体で取り組める体制がほしい。(入試結果についてはこれから) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 就職指導同様、3年間を見通したサポート体制が必要だと思う。 スタディサプリについては、前年度同様の反省点が出ているので、担当の先生方の意識とご協力をお願いした。 中学生に関して、入学当初から大学進学を意識させる指導は賛成です。 進学指導でも手厚い面接指導、ありがとうございました。

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
③生活指導の充実	礼法教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> 「your steps」に従い美しい所作を指導する。(椅子の掛け方、歩き方、ドアの開け方、お茶の入れ方など) 会食指導は礼法にかなった食事作法を実践する。 会釈・挨拶の励行をし、場に応じた挨拶の指導をする。 「授業をする上での留意すべき事項」に従い、礼法指導に即した授業実践をする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにつれて、TPOにあった振る舞いができるようになってきている。 礼法、会食、茶道の時間など女性としての美しい所作を身につける機会がたくさんあるように思う。建前ではなく、普段から自然にできるようになればと思う。 修学旅行では、今まで習ってきた礼法教育の実践を意識している生徒が多かったように思う。 以前に比べ会釈、挨拶ができていないように思われる。 礼法指導の実践において、職員全体がもっとふだんの学校生活の中で生徒に意識させる必要を感じる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 男女共学になる学校が増えている中、女子高にこだわる姿勢は必ず評価されると思います。 礼法の指導をしていただき、色々なマナーを教えていただける事をありがたく思います。他校の保護者、先生方にも気持ちの良い挨拶ができるようになれば素晴らしいと思います。 会食指導をとおして、食事のマナーの向上、姿勢がとても良くなった。 言葉遣いに関しては、メディアの影響もあり略された言葉を使う子供が多くなったように思います。正しい日本語を学ぶ機会があればよいと思います。 会釈を気さくにしてくれる生徒が多いのは嬉しい限りです。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 「情報収集→まとめ→分析→報告」を繰り返し、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。 一報を通して迅速な情報共有に努める。 週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢を指導する。 校風向上習慣、マナーアップキャンペーンで清楚な身なりを指導する。 清掃活動を通して環境美化に努め、施設を丁寧に使用することを指導する。 教室内の整理整頓を通して私物の管理を正しく行い、清潔な生活感覚を育てる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 「一報」での情報共有化が定着し、それによって迅速な事情聴取、指導が行われている。 清掃を面倒と感じる生徒が多くなってきていると感じる。一生懸命清掃をする生徒が多数派になるようにしたい。 マナーアップキャンペーンなど、委員会主体の活動をとおして、生徒の意識にも働きかけることが出来ていたように思われる。 概ね、生徒は週番活動を真面目に行っており、好感が持てる。 本校は、学年が上がるにつれて指導が定着し良好であると言われているが、服装・髪型についてはそうでない生徒が増えているように思う。ただ、他校生と比較すれば良好である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> いつ伺っても、隅々まで清掃が行き届いているので素晴らしいと思います。 服装、髪型に関しては、保護者は他校の生徒と比べる機会のほうが多いので、いつも学生らしいなと好印象です。 先生方全員が共通認識を持って生徒指導をしてほしい。 美しい学校、礼儀正しい生徒など先生方の指導の賜物だと思う。更なる校風の向上、マナーアップに期待するが、時代に即した見直しも必要ではないかと感じる。
④情報発信の充実	学年通信 学級通信	<ul style="list-style-type: none"> 通信を、学年主任・担任と保護者とのコミュニケーションの一つと捉え、学年・学級の状況を伝える。 〔月1回発行〕 	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、学年・学級通信を発行できている。 学年通信の発行しかできていない。 計画通りに学年・学級通信を出すことが出来ている。 本来は月1回と考えてきたが、滞ることもあった。後期は達成したい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学年・学級通信をいつも拝見させて頂き、参考になります。 子供から親元に届かないことも多々ありますが、予定やクラスの様子などがわかってよいと思います。 就職向け、進学向けの通信があれば良いと思います。 学校全体で見ると、発行頻度にバラツキがあるようだが、指標である「月1回」の発行に期待したい。
	オープン キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスは年2回実施し、担任とのコミュニケーションを図る機会とするなど学校理解の促進に努める。 〔参加率70%達成をめざす〕 	B	<ul style="list-style-type: none"> 参加率48% オープンキャンパスをとおして、授業や学校の様子を見ていただく良い機会になっている。特に美術造形デザイン科・調理栄養科はの授業は楽しんで参観してもらえる。 今年は参加率が全般的に低いが、保護者が希望すれば担任や部活顧問との面談ができるようにしたらどうか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 部活動顧問や担任・学年主任の先生方との面談という提案賛成です。 調理実習などで、保護者と一緒に食事する機会があればいいなと思います。 参加率の低下は心配です。教師の熱い思いを伝えてください。
	ホーム ページの 活用	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信のタイムリー性と実用性の向上 学年・分掌・教科内での原稿作成者決定(行事、検定等) 各行事の更新担当を明記 部活動記録の月毎の更新 	A	<ul style="list-style-type: none"> 以前に比べて、更新が頻繁に行われ情報発信がタイムリーになっている。今後は、募集活動も意識して、学校主催のイベントや入試に関する情報もアップしていければと思う。 整理され見やすいものとなっていると思う。 非常に見やすく女子高らしい清潔感があるHPだと感じる。 職員がもっとHPを開くような習慣も大事。 	A	<ul style="list-style-type: none"> HPは、随時更新がなされ、すっきり見やすく好感が持てる。スマートフォンサイトの「サイト内検索」ボタンは、ページ上部のほうがよい。 行事の写真を多く載せていただくと子供の様子がわかります。 パスワードで保護し、学校での子供たちの様子がわかると嬉しいです。 生徒募集の役割も兼ねているので、大変でもわかりやすく情報発信をお願いしたい。

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の健康観察、定期健康診断の実施 ・ 校内の救急体制を整備し、家庭との連携を密にする。 ・ 生徒の成長や実態に即した健康教育を実施する。 ・ 健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じ、スクールカウンセラーとの連絡を密にする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み明けに欠席をする生徒が例年より多く、生徒指導的な面を含め、病気ではない精神的なフォローの必要性を感じた。 ・ 健康面では、感染症や欠席者の増加等は見られず、良かったと思う。 ・ 保健室利用カードの導入によって、利用状況が把握しやすい。 健康管理、カウンセリングによるサポートなど活動内容は充実していると感じる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神面で弱い子供が多くなったように思います。そんな意味で、スクールカウンセラーの充実、サポート体制は素晴らしいと思います。 ・ 相談に行きやすくするために、土曜の午後とかに「相談窓口」があれば良いと思います。
⑥安全管理	避難訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校独自の避難訓練を年2回実施 〔7月―地震防災訓練〕 〔10月―火災防災訓練〕 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月の訓練では、中部危機管理局員による講話と講堂からグラウンドへの避難訓練を初めて実施した。 ・ 突発的な対応ができるようにしておくことも大事かと思う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単なる訓練にならないように意識して行ってほしいと思います。 ・ 登下校時の訓練も必要ではないでしょうか。 ・ 震災ボランティアとして動けるように、応急措置の仕方なども訓練に入れたらどうでしょうか。
	職員防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災関係の職員研修会を実施(7月) ・ 初期消火訓練、救急対策講習会などの実践的訓練を通し、職員の意識向上を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員によるAEDや心臓マッサージ等の救急講習会を実施し、意識の向上を図ることが出来た。 ・ 職員の発災時における役割が徹底されているか、検証する必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ AEDや心臓マッサージは子供たちもできるように、講習会を実施してほしい。 ・ 大切な命を預かるという点で、今の時代、とても大事だと思います。